

「子どもの口腔機能の困りごと」に、
歯科診療室で取り組もう！



ワンポイントMFTで取り組む 口腔機能すくすくBOOK

大野肅英・山口秀晴・井上美津子・高橋 治・橋本律子
編著

A4判変/128頁

定価 6,930円 (本体 6,300円 + 税 10%)

医歯薬出版 (2022年6月)

キートス歯科医院 (東京都清瀬市)
山口歯科医院 (東京都西東京市)
評・山口美子 (歯科衛生士)



2018年の歯科診療報酬改定によって口腔機能訓練が健康保険適応となったことから、高齢者のオーラルフレイルや小児の口腔機能育成に対応するためにMFT(口腔筋機能療法)を導入する医院が増えています。しかし、一般歯科においては、患者さんの口腔機能に問題を感じても、どのように対応すればよいか、試行錯誤を重ねているのが現状ではないでしょうか。本書はそんな歯科医師・歯科衛生士に向けた、小児の口腔機能の問題を解決するための一冊です。

「その1」では、保護者から相談の多い「食べる機能の困りごと」「呼吸の機能の困りごと」「話す機能の困りごと」について、「何が問題になるのか」「何を観察して評価すればよいか」「原因と対策にはどのようなものがあるか」を踏まえ

たうえで、実際のMFTトレーニングが豊富な写真とわかりやすい図説で紹介されています。

困りごとの内容や各問題への対応策が明確な言葉で説明してあるため、MFTを導入したての医院でも取り入れやすいと思います。

「その2」では、舌突出癖、口呼吸、口唇閉鎖不全、低位舌、指しゃぶり、咬唇癖、舌小帯附着異常などの代表的な口腔習癖があげられ、その問題点と原因が述べられています。これらの口腔習癖が複合して関連づいていることが解説されており、口腔習癖の問題点をより正確に把握することができます。

「その3」では「口腔機能とMFT」と題し、MFTの本来の目的と指導手順、さまざまな分野への応用が説かれています。本章で解説されるとおり、本来、MFTに取り組むためには50種類以上あるエクササイズを段階的に指導することが推奨されていました。しかし、「その4」では、一般歯科で応用しやすいよう、エクササイズのうち一部を活用する方法を「ワンポイントMFT」として紹介しています。本章の冒頭ではMFTを部分的に活用するうえでの疑問点がQ&A式で解説され、エクササイズのポイントがイラストで詳細に示されているので、初心者でも適切に指導することができるでしょう。「その5」では、保護者に口腔機能について説明する際のポイントが述べられ、指導者の困りごとを解決してくれます。

MFTについては多くの書籍が発行されていますが、一般歯科で取り入れるには専門的な要素が多く、ハードルが高いものでした。本書には日常臨床で見かけることの多い問題点が網羅され、その原因や対応策が明確に示されており、臨床における辞書のような一冊です。本書が診療室にあることで、一般歯科での口腔機能への取り組みが大きく広がり、患者さんの改善につながっていくことと思います。